

第11回理事会・第4回臨時社員総会議決

平成28年度

事業計画書

平成28年4月1日から
平成29年3月31日まで

公益社団法人 新化学技術推進協会

平成 28 年度事業計画書

「基本方針」

新たな化学技術の開発推進によりイノベーションを創出し、我が国の諸産業の発展ならびに国際競争力強化とプレゼンスの向上を図り、社会の持続的発展と経済の健全な成長に寄与することを目指す。

この目的を達成するために、グリーン・サステイナブル ケミストリー (GSC) を基盤とし、以下の 4 項目を柱として、長期的展望をもって継続的かつ一貫性のある活動を、国や業界の枠を超えて推進する。

- ① 化学技術戦略の立案と社会への発信および政策への提言
- ② 化学技術に関する交流・連携の推進と情報の発信
- ③ グリーン・サステイナブル ケミストリー (GSC) の推進および普及
- ④ 若手研究者への研究支援と将来の化学イノベーションを担う人材育成

「平成 28 年度事業方針」

協会発足後 5 年を経た平成 28 年度は、協会活動の更なるステップアップに向けて、急速なデジタル化の進展等の環境変化を踏まえ、国や業界の枠を超え、基本方針に基づいた以下の具体的活動を、協会の組織力を統合して推進する。

- ① 化学技術戦略の立案と社会への発信および政策への提言
 - ・平成 23 年度に「化学産業が取り組むべき 7 つの課題」を抽出し、5 年に亘って議論・発信してきた戦略提言と、環境変化を踏まえ、今後の戦略提言の在り方について検討し、活動に反映する。
 - ・新たなプロジェクト提案や知的財産に関する調査・議論を推進する。
- ② 化学技術に関する交流・連携の推進と情報の発信
 - ・我が国化学産業の国際競争力強化に資する産学官や異業種間の交流・連携の場として、最先端の化学技術シーズやニーズ等の動向を捉えた講演会・技術セミナー・交流会をタイムリーに企画・実施する。
 - ・産学官交流を連携につなげるための、新たなしくみや仕掛け作りを検討・推進する。
 - ・海外のイノベーション推進機関との情報交換を継続し、協会活動の国際化を推進する。
 - ・化学産業の社会への貢献および協会活動の成果を広く社会に発信する広

報活動と会員サービスの充実を図る。

- ③ グリーン・サステイナブル ケミストリー (GSC) の推進および普及
 - ・ GSC-7 国際シンポジウムで発信された「東京宣言 2015」と新たな広がりを示した「GSC 活動の指針」に沿って、GSC の推進と普及・啓発を行う。
- ④ 若手研究者への研究支援と将来の化学イノベーションを担う人材育成
 - ・ 新化学技術研究奨励賞（ステップアップ賞を含む）の継続・活性化を図ると共に、受賞者と化学産業との交流連携を図っていく。
 - ・ 従来から実施してきた大学・大学院対象のキャリアパスガイダンス等の活動について、協会の特徴を生かした活動を今後とも検討する。

「事業実施内容」

<公益事業>

1. 新化学技術に関するメッセージの発信、テーマの発掘と調査研究・普及啓発、人材育成等に関する事業（公1）

- (1) 新たな化学技術に関するメッセージの発信（公1-①）

化学技術の最新動向など新化学技術に関するメッセージを広く社会に情報発信するため、シンポジウムや特別フォーラムなどを開催する。シンポジウムについては「第5回 JACI/GSC シンポジウム」を6月に神戸で開催する。特別フォーラムについては、イノベーション創出のヒントとなる様々なテーマで開催する。また、ニュースレター、ホームページ等を活用した広報活動を通じて、化学産業からのメッセージを社会に発信する。さらに、海外のイノベーション推進機関との交流・情報交換を推進し、協会活動の国際化につなげる。

（企画運営会議他）

- (2) 新化学技術に関する調査研究および普及啓発の推進（公1-②）

「先端化学・材料」「ライフサイエンス」「電子情報」「エネルギー・資源」「環境」の5領域を中心に、最先端の化学技術シーズやニーズ等の動向を捉えた講演会・技術セミナーを企画・実施する。また、産学官

や異業種間の交流会をタイムリーに企画・実施する。産学連携活性化に向けた新たな取り組みとして、幅広い議論により将来社会・技術を想定し、その実現に向けた産学連携の具体策を検討する場を設定する。
(企画運営会議・フロンティア連携委員会・技術部会)

2. 他団体等との協働により推進する産学官連携事業およびアカデミアを対象とした研究助成事業 (公 2)

(1) GSC の普及推進 (公 2-①)

GSC-7 国際シンポジウムで発信された「東京宣言 2015」と、新たな拡がりを示した「GSC 活動の指針」に沿って、グリーン・サステイナブルケミストリー(GSC: 人と環境にやさしく、持続可能な社会を支える化学)の推進と普及・啓発を行う。具体的には「第 5 回 JACI/GSC シンポジウム」を主催すると共に、協会ホームページ、ニュースレター等で GSC についてのメッセージや情報を発信する。

また、GSC の推進に貢献のあった個人・団体を顕彰する GSC 賞各賞の運営を実施する。

(GSCN 会議・GSCN 運営委員会)

(2) 産学官連携による人材育成支援 (公 2-②)

大学・大学院生に対して行ってきたキャリアパスガイダンスについて、協会の特徴を生かした効果的な活動を検討し、実施する。また、より若年層を対象にした理科教育支援として、高校生理科研究発表会への支援を行う。

(企画運営会議・戦略委員会・人材育成部会)

(3) 関連団体との協働 (公 2-③)

日本化学工業協会、日本化学会、化学工学会と協働して「夢・化学 21」の活動を推進するとともに、学協会等が実施する新化学技術の推進のためのイベント等に協力・連携する。

(企画運営会議・戦略委員会)

(4) 研究奨励賞の授与 (公 2-④)

40 歳未満のアカデミア研究者への研究助成を中心とする新化学技術研究奨励賞について、平成 26 年度に開始したステップアップ賞を含めて

継続と活性化を図る。また、研究奨励賞受賞者発表会等を開催し、受賞者と化学産業との幅広い交流の場を提供する。(企画運営会議・フロンティア連携委員会・技術部会)

3. 新化学技術に関わる戦略の立案および社会・国レベルの課題に関する政策提言を行う事業 (公3)

平成23年度に「化学産業が取り組むべき7つの課題」を抽出し、以後5年に亘って議論・発信してきた戦略提言と、環境変化を踏まえ、今後の戦略提言の方針・テーマ等について検討し、戦略提言活動に反映する。(企画運営会議・戦略委員会・戦略提言部会)

<その他の事業>

4. 新化学技術の振興に向けた会員間の協働と連携による事業 (他1)

(1) トップセミナーの開催 (他1-①)

会員企業のトップ経営層の交流と意見交換の場としてトップセミナーを開催し、タイムリーな話題提供を行う。

(企画運営会議)

(2) 新化学技術に関する戦略的研究開発プロジェクトの企画・立案と提案 (他1-②)

環境変化や国の戦略を踏まえ、技術シーズ、社会ニーズ両面から、将来の化学産業の発展に貢献する国プロ提案を目指した活動を、戦略提言部会やフロンティア連携委員会との連携を深めながら推進する。そのために、有望なテーマ候補について、可能性検討のためのワーキンググループ、国プロ化本格検討のための研究会を経て、具体的な国プロ提案を目指す。

(企画運営会議・戦略委員会・プロジェクト部会)

(3) 化学分野の知的財産に関する情報の共有および議論 (他1-③)

化学産業全般に共通性の高い知的財産事項に関する調査、研究、および議論を引き続き進める。また、知的財産に関する化学産業の意見を、社会、行政に積極的に発信していく。

(企画運営会議・戦略委員会・知的財産部会)